

おかげさまで創業 126 年

株式会社 K-DIC<ケイ・ディック>

<本社所在地>

〒939-8202 富山県富山市西田地方町 2-12-3

TEL : 076-425-8650

FAX : 076-425-8689

従業員数 12 名 (G 合計)



(会社外観)

省エネ家電への買換え促進のために工夫されたこと

- 以前より、カタログの一番前に載っている商品を第一にお勧めすることに注力しております。一度いい商品をお使いになったら、冷夏の商品との差は歴然と分かるので使えなくなりますから。
- その際に必要なのが知識の裏付けによる商品説明力です。それに合わせてどれだけお客様の生活を知っているか？が大切になります。そのために毎月呼ばれていなくてもお客様訪問を欠かさず行っているのです。



(ショールームの様子/IoT ラボ)

省エネ家電に関する販売員等への教育

- 新商品発売時は必ずメーカー担当者に依頼しての勉強会を開催します。
- 商品は実際に購入して店舗で実際に触れるように展示します。貸出にて体験も行います。
- 積極的にメーカーの開催する勉強会に参加したり、シーテック等の見本市を見学しに東京や大阪まで出かけたりしています。



(勉強会風景)

省エネ家電の販売にあたって、ご苦労された点

- 量販店やテレビ通販の影響もあり、商品の価格帯というものが顧客の頭の中にイメージとして残っており、「安い商品」と「本当にいい商品」の違いを伝えるのに一工夫必要な時代になった気がします。
- 「高い商品」ではなく「本当にいい商品」であるという認識をこれからもしっかりと伝えていかないといけないと思います。そのためにも話を聞いてもらえる人間関係をしっかりと構築していきたい。

「省エネ家電等マーケットモデル事業」(補助事業) に対するご意見・ご要望

- 家電にも車業界の車検制度のような一定の基準を設けて、毎年メンテナンスする環境が必要だと思います。経年劣化で火事になったり一酸化炭素中毒で人がなくなったりする事例も出ているため、人の生活や命までもかかわる商品を扱っているのだという自負を家電業界全体に広げ、あわせて個人の消費者にも浸透していかないといけないように思います。
- あわせて、日本全体の意識として「安価で使い捨ての消費行動」から、ちょっと高くても「環境の負荷を減らし、長く大切にモノを使う文化」へと変わっていく必要がある時代ではないかと考えます。
- 電力を原子力に頼ることをやめた日本。こんな時代だからこそ国の総意としてエネルギーやモノの消費を考え直し、もともと日本人が持っている「人」だけでなく「モノ」にも感謝できる日本の精神文化を取り戻すことが大切だと思います。